

「国内フェリー・RORO物流セミナー」を開催しました

北九州港は、国内屈指の内航フェリー・RORO船の拠点となっています。同輸送モードの年間取扱貨物量は4,809万トンに達し、北九州港全体の取扱量の約5割を占めています。

北九州港航路集貨対策委員会では、昨年度より「環境にやさしいフェリー・RORO船を利用した物流」を広くメーカーや商社の皆様にご紹介し、国内外接続を含む今後の物流構築のご参考としていただくためのセミナーを行っています。

今年度も、各企業様にご協力頂き、下記内容を実施致しました。

日 時 平成23年11月17日(木) 10:30~16:10

場 所 【午前】ステーションホテル小倉 【午後】新門司フェリーターミナル

参加人数 62名(44社)【他に船社等11名(5社)】

【構成】所在地別・・・(北九州市内)21名、(福岡県内)15名、(山口県内)14名
(東京都、愛知県)各3名、(北海道、佐賀県)各2名
(大分県、兵庫県)各1名

業種別・・・メーカー・メーカー物流(31名)、商社(9名)
物流(10名)、その他(12名)

主 催 北九州港航路集貨対策委員会(共催 (社)北九州港振興協会)

協 力 オーシャントランス(株)、川崎近海汽船(株)、阪九フェリー(株)、
(株)フェリーさんふらわあ、(株)名門大洋フェリー、東海ゴム工業(株)

実施内容

【セミナー】

- 1) 「北九州港の航路網とシームレス物流について」 北九州市港湾空港局
内容：日本海側拠点港として目指す、充実した国内フェリー・RORO航路網を生かしたアジアとの「シームレス物流」の実現など
- 2) 「常陸那珂/小倉(日明)RO船定期サービス」 川崎近海汽船(株)
内容：先の震災からのいち早い復旧、九州と北海道とを接続するRORO船のメリットなど
- 3) 「モーダルシフトと環境問題」 阪九フェリー(株)
内容：フェリーが環境に優しい輸送モードであること、また、その利点を活用しモーダルシフトを行った企業の実例紹介など
- 4) 「フェリー活用によるモーダルシフトとその効果について」 東海ゴム工業(株)
内容：同社が全線陸送からフェリーを利用したモーダルシフトを行うに至った経緯とその効果など

【施設視察】

新門司フェリーターミナルにおいて、フェリー船社の担当者
案内による車輦甲板、ブリッジ等フェリー内部および実際の
トレーラーを使用した模擬荷役などの見学
オーシャントランス(株)
(株)名門大洋フェリー

(当日の様子)



セミナー



セミナー



昼食会



施設視察



施設視察(船内車輛甲板)



施設視察(船内車輛甲板)